

令和6年度子供・若者育成支援強調月間  
第40回 東伊豆町青少年主張発表大会

# 発表文集

日 時 令和6年11月16日(土)

9時30分～12時00分

会 場 東伊豆町役場1階 大会議室

発表者 町内小中学生の代表、町内在住の高校生



主催 東伊豆町

東伊豆町教育委員会

東伊豆町青少年健全育成会

後援 東伊豆町PTA連絡協議会

東伊豆町青少年問題協議会

協力 稲取高等学校ボランティア部

静岡県青少年対策本部長／静岡県青少年育成会議会長  
静岡県知事 鈴木 康友

本日、東伊豆町において、令和6年度子供・若者育成支援推進強調月間第40回東伊豆町青少年主張発表大会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、日頃から、子供・若者の健全育成や支援活動に積極的に取り組まれている皆様の御尽力に対し、改めて感謝申し上げます。

幸福度日本一を目指す本県では、未来を担う子供・若者たちが健やかに成長するためには、家庭・学校・地域・職場がそれぞれの役割を果たし、連携を深め、互いに学び、支え合うことが重要であるという考えのもと、「地域の子供は、地域の大人が育てる」を共通活動テーマとし、子供・若者の健やかな成長を支える活動に取り組んでいます。

子供・若者の置かれている環境は、少子・高齢化の進行やデジタル化の急速な進展などにより、日々変化し複雑化しています。その要因としては、スマートフォンやタブレット端末などにより必要な情報が即時に入手できるようになった反面、体験活動の減少や孤独・孤立の問題、SNSに起因するトラブルの発生などが挙げられています。そして引き続き、ニートやひきこもり、不登校、貧困、児童虐待、ヤングケアラーなど、様々な問題を抱えた子供や若者への支援も推進していく必要があります。

こうした課題に対応するため、県では子供たちの成長と自立に向けた支援はもとより、困難を有する子供や若者、その家族への支援、さらには、全ての子供が幸福感を持って生活できる環境、地域づくりを推進しています。

取り巻く環境の多様化が進み、社会の変化に対応する力が求められている今だからこそ、静岡県の若人が「生き抜く力」を身に付け、夢に向かって自ら人生を歩んでいけるよう、県や市町のみならず、地域住民団体等が連携・協力し合い、一体となって取り組むことが重要です。全ての子供・若者が、かけがえのない存在として誇りと自覚を持って成長し、それぞれが思い描く幸せを実感できる社会となるよう、育成支援活動に携わる皆様をはじめ、県民の皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本大会を契機に、総力を挙げての子供・若者育成支援活動が、県内各地においてますます活発に展開されますことを祈念し、メッセージいたします。

# 第 40 回 東伊豆町青少年主張発表大会 目次

1. 開会のことば 東伊豆町教育委員 飯田 利喜

2. あいさつ 東伊豆町長 岩井 茂樹

3. 発表

## 【小学生の部】

|                 |                                                              |
|-----------------|--------------------------------------------------------------|
| ごみの落ちていないきれいな町に | 熱川小学校 6 年 <small>まつもと</small> 松本 <small>ふ ゆ</small> 楓優 (P.1) |
| 東伊豆町の魅力の伝え手に    | 稲取小学校 6 年 <small>てい</small> 鄭 <small>しいえん</small> 喜元 (P.2)   |

## 【中学生の部】

|               |                                                               |
|---------------|---------------------------------------------------------------|
| みえないもの        | 熱川中学校 3 年 <small>かねだ</small> 金田 <small>たいせん</small> 泰泉 (P.3)  |
| 地域のために私ができること | 稲取中学校 3 年 <small>いなおか</small> 稲岡 <small>ひろ え</small> 宥映 (P.4) |

## 【高校生の部】

|             |                                                              |
|-------------|--------------------------------------------------------------|
| みんなで命を守るために | 稲取高等学校 1 年 <small>やまだ</small> 山田 <small>ゆきみ</small> 薫生 (P.6) |
| 私の夢         | 下田高等学校 1 年 <small>すずき</small> 鈴木 <small>あや</small> 絢 (P.7)   |

☆歴代発表者 (P.9～P.16)

4. 講評 東伊豆町教育長 横山 尋司

5. 賞状及び記念品授与 東伊豆町長 岩井 茂樹

6. 閉会のことば 東伊豆町青少年健全育成会  
熱川地区連絡協議会 会長 田中 洋一

## ごみの落ちていないきれいな町に 熱川小学校 6 年 松本 楓優

わたしの好きな東伊豆町は、海と山に囲まれています。熱川は特に温泉が有名です。熱川には、たくさんのホテルもあり、観光客もいっぱい来ます。夏にはたくさんの人が海で泳いだり、釣りをしていたりする人がいつもいます。そんな自慢できる海が、わたしは大好きです。

わたしは、東伊豆町を今よりももっときれいな町にしたいと思っています。そのためにも、町に落ちているごみを少しでも減らしたいです。

落ちているごみの多さに気付いたのは、5 年生の総合の時間に行った、ごみ拾い活動がきっかけでした。熱川駅や海までごみを拾いに行くと、落ちているごみを調査したら、想像していたよりもずっとたくさんのごみが落ちていておどろきました。学校にもどった後、5 年生で計画を立てて、ポイ捨て禁止のポスターを作りました。見た人に、まず自分からポイ捨てに気を付けようという気持ちを持ってもらいたい、ポイ捨てのことを家族や知り合いの人にも伝えて欲しいと願って駅や農協などにポスターをはってもらいました。

でも、この活動だけでは、町はきれいにはなっていないと思っています。わたしは、子供の海や町をきれいにする活動にも参加していますが、毎年たくさんのごみが集まります。その中には、ペットボトルやおかしのごみといった子供が捨てそうなごみだけでなく、コーヒやビールの缶、たばこの吸いがらなど、明らかに大人が捨てたようなごみがたくさんあります。毎年拾っているのに、ごみが減る様子はほとんど見られません。どうしてこんなところにごみを捨てるのだろうかと思いました。

ごみをポイ捨てする人はきっと、持ち帰るのが面倒なのだと思います。ごみを持って帰にしても荷物が増えてしまうし、ごみ箱を探すのにも時間がかかったり、面倒だと思ったりするのだと思います。そして、誰かが落としたごみ

を見た次の人が、ごみが落ちているから、自分も捨てて大丈夫だと、ポイ捨てをすることが平気になっていくのだと思います。ごみ箱が町中に少なくなってしまったのも、ポイ捨てされるごみが増えた原因の一つだと思います。

わたしは、外で出たごみは、家に持ち帰るか、指定のごみ箱に捨てるようにしています。ごみ一つにまとめて運びやすくするために、いつも小さいふくろを持ち歩いていて、ごみが出たときは、そのふくろに入ると簡単に持ち帰ることができます。このように小さな心がけで、ポイ捨てを防ぐことができるので、みなさんにも気を付けてほしいです。

今、ごみの問題は世界的にも取り上げられています。

わたしたちが捨てたごみが、海にいる生き物を苦しめていることがテレビで取り上げられていました。プラスチックは目には見えないほどに小さくなって、魚の体の中に残るそうです。また、ビニール袋をクラゲと間違えてウミガメが食べて死んでしまうことも道德の授業で友達が教えてくれました。

世界中で問題になっている地球温暖化も、ごみを燃やすことで発生する二酸化炭素が原因の一つだと言われています。買い物に行ったら、レジ袋を再利用するなどして、ごみが増えるのをみんなで防いでいけたらいいと思います。

ポイ捨てをするのは簡単だけど、拾うのはとても大変なことを、たくさんの人に知ってもらいたいです。ペットボトルや空き缶なども正しく分別すれば再利用することができることももっと知ってほしいです。きっとごみ拾い活動に参加したことがある人は、その大変さを知っているし、きれいな町にしたいという気持ちがあるから、ポイ捨てはしないと思います。

海にごみが落ちていないからこそ、観光客や子供も安心して海で遊ぶことができます。お家の人も安心して遊ばせてあげられます。きれいな海は SNS などでも話題になり、今よりも

っと活気のある東伊豆町になっていくと思います。

ごみを落としている人を見かけたら、本当は注意をしたいけれど、勇気が出ないかもしれません。だから、わたしはこれからもごみを拾っていきたいと思います。毎回ごみ袋を持ちながら、大好きな海に出かけたいです。そして、東伊豆町がこれからもきれいな町であり続けてほしいと思います。



#### 東伊豆町の魅力の伝え手に 稲取小学校 6年 鄭 喜元

みなさんは東伊豆町にどのような印象をもっていますか？私は優しくお互いに助け合えることができる、温かい地域だと思います。その理由は、登下校中に地域のおじいさんやおばあさんが「何年生？」や「妹さんと元気に学校に通っていていいね。」など、話しかけてくれるからです。他にも横断歩道を渡るときに「車に気をつけてね。」と優しく声をかけてくれました。私が地域の人に挨拶をすると、挨拶を返してくれるだけではなく、「今日も元気に行ってらっしゃい。元気に通ってね。」と、いろいろなことを話してくれることが嬉しいです。東伊豆町に五年生のときに引っ越してきたわたしは、温かい声をかけてもらったことで東伊豆町のことが好きになりました。

私はそんな東伊豆町の温かさを守っていき

たいと考えます。そのためにはいろいろな人がこの温かさを感じられるようにすることが大切だと思います。地域の行事に積極的に参加することで、多くの地域の人と関わることができ、いろいろな人の考え方や温かさに触れることができます。

私は旧稲取幼稚園の清掃作業に参加しました。参加している人の中には、おじいさん、おばあさん、家族で参加している人もいました。みんなで床を拭いたり、棚を拭いたりしました。参加している人たちでお互いに声をかけ合ったり、床を拭くときには誰が速く拭けるか勝負をしたりしました。面識がない人とも、みんなが仲良く過ごしているところを見て、東伊豆って温かい地域だなと思いました。床拭き競争のときに、おじいさんおばあさんも私のことを知っている、知らないに限らず、応援してくれました。そして私もその輪に入って、掃除に参加していた人たちを応援して楽しかったです。掃除の後におかしを用意してくれていました。そのときおじいさん、おばあさんが「座りな、座りな」や「どこからきたの？がんばって掃除をしていたね。」と言ってもらえて心がほっと温かくなりました。旧稲取幼稚園の清掃作業があるというお知らせがあったとき（知らない人の中に入っていくのが不安だな）という気持ちが強くて、最初は行こうとは思っていませんでした。しかし、お母さんが「地域の人と関わりを深めたり、いろいろな地域のことを知ったり手伝ったりすることができるから一緒に行こう。」と言ってくれて、家族で行くことになりました。最初は勇気が出なかったけれど、実際に行ってみるとみんなが歓迎してくれて、（行ってよかったな。）と思いました。みんなで協力して掃除をした旧稲取幼稚園の名前募集があったとき、すごく嬉しくなりました。それは自分が少しでも関わったからだと思います。友達と名前を考えましたが、募集された中から【よりみち 135】という名前になったことを知りました。東伊豆町の温かさを守っていくためにも、子供も大人も関係なく、みんなが集まってほっとできる場所

になって行って欲しいなと思います。

登下校中に最初は挨拶だけ交わしていたおばあさんが、毎日通学路を通っていたら話しかけてくれたときがありました。そして昔の稲取の話をしてくれました。「昔は稲取にたくさん子供がいたんだよ。すごくにぎやかだったんだよ。でも都会に行ってしまったたり、住む人が少なくなったりしてこの道を通る人も少なくなかったんだよ。」と教えてくれました。おばあさんの話を聞いて、稲取にはいい人がたくさんいておいしい食べ物もあるのにもったいないなと思いました。

稲取の魅力を多くの人に知ってほしいという思いから、私たち稲取小学校の6年生は総合の学習で稲取の魅力を発信することを考えています。そのために、改めて稲取の良さを調べています。私は幼稚園まで中国にいて、その後4年生まで京都で過ごし、5年生のときに稲取に来ました。引っ越してきたからこそ、東伊豆町の温かさや、豊かな自然、その土地で採れるおいしい食べものなど様々な魅力を感じます。私は東伊豆町の特産物などを売っている「こらっしえ」や朝市によく行きます。京都には自分が住んでいた近くに朝市はありませんでした。そのため、地元でとれた新鮮な食材がたくさん売られていてすごいなと思いました。手作りの物も多くて、おいしくて、健康にもよいと思いました。今、グループに分かれて魅力を調べ、調べたことを元に、まだ稲取に来たことのない人、来たことがある人、移り住んでくる人、海外の人などたくさんの人に発信していく内容と方法を考えています。たくさんの人に稲取の魅力が伝わるように、みんなでアイデアを出し合って作り上げていきたいです。

そして将来、私は東伊豆町の魅力をたくさんの人に発信する通訳になりたいと思っています。多くの外国から来た人が日本で楽しく過ごせるように、その人の言っていることを聞き、間違えないように訳す練習をたくさんしたいです。また、分からない言葉が出たらどうするかなど

の対策を、いろいろな人の助けを借りながら学んでいきたいです。東伊豆町の温かさをこれからも大切にし、より魅力的な東伊豆になっていくように自分にできることを考え、取り組んでいきたいです。



#### みえないもの

熱川中学校3年 金田 泰泉

ぼくの家は“お寺”です。

「あー痛い痛い、伸びている伸びている。」

こんな声が、週に一度、本堂の中から聞こえてきます。ぼくの家のお寺では地域の人と交流しながら、体を動かす『ストレッチ・クラス』という行事を週に一回開催しています。それは、「無理なく適度に体を動かし、みんなで楽しく時間を過ごしましょう。」ということを目的に、数年前から実施しています。そこで始まったご縁がきっかけで、最初はあまり話せなかった方とも、今ではのびのびと体を動かしながら、会話を楽しむことができるようになりました。

ぼくも、都合が合えば、そのクラスに参加して、みなさんと交流を深めています。

あるとき、「目に見えないところの痛みは、周りに分からなくて辛いね。」と、メンバーの方が、ぼくに話しかけてきました。

ぼくは、意味が分からないまま、とっさに、「そうですね。」と答えてしまいました。

何も考えずにストレッチを楽しんできたのですが、そのメンバーの方の一言で、気づか



されたことがあります。

ぼくのお父さんは、めまいや耳鳴りで苦しんでいます。お父さんの耳鳴りは、病院に行っても治るものではなく、一生付き合っていくしかない、という不調です。お父さんが、こんな症状だということは、家族全員が知っています。お父さんは、何を語るわけでもなく、その日も、ぼくたちとストレッチに参加していました。

ぼくに声を掛けてきたメンバーの方は、お父さんが、今日はどんな具合なのか、いつも気に掛けていたのでしょう。その日だけでなく、お父さんがストレッチに参加する度に、「今日は大丈夫かなあ？」と、気遣ってくれていたのに違いありません。そんな思いがあるから、「目に見えないところの痛みは、周りに分かってもらえなくて、心が辛いね。」と、つい言葉にしたのだと、ぼくは思いました。ぼくは、とっさに、「そうですね。」と返しましたが、この「そうですね。」はただの返事としても、軽いものでした。ぼくは、今日も自分がストレッチをするのに夢中で、周りの人のことなど気遣っていませんでした。

「みんなで楽しくストレッチ。」という目的なのに、ぼくは周りを全然見ていなかったのだと反省しました。

後から聞いた話ですが、「目に見えないところの痛みは、人に分かってもらえなくて辛いね。」と言った人は、若い頃に大きな病気で、手術をしたことがあったそうです。

そんな彼女だからこそ、体調の優れない人の、心の痛みまでもが分かっていたのかも知れません。ぼくたちは、日常生活の中で、相手を本当に思いやって接することが、どれだけできているのでしょうか。

体の痛みや、心の痛みは、人それぞれ感じ方、受け取り方があり、まったく同じように感じることはできません。ぼくがとっさに言った、「そうですね。」という言葉も、薄っぺらいものでした。よく考えてみると、本当にその人の

身になって考えるということの難しさを、改めて考えさせられます。

目に見えている、傷や痛みは、「痛そうだね。」と、察知することは、簡単そうですが、目に見えない症状で苦しんでいる人のことは、分かりづらいものです。

心の傷もそうだと思います。どんな風に痛かったり、不快な症状なのかは、人それぞれで、ぼくたちはその人とまったく同じ痛みを理解することはできません。しかし、他人が痛みで苦しんでいる、不快に感じていることがわかると、さみしさを感じたり、悩む人だっています。

人と接する中で、同じ痛みは分からないけれど、その痛みを分かろうと努力をし、その人と自分が重なるくらい、強く相手を思うことができれば、それで救われる人がいるはずです。

相手の見えない痛みや苦しみを、想像し、それを自分に置き換えて考えてみるという習慣をつけたい。そんなことができる人になりたいと思います。



#### 地域のために私ができること 稲取中学校3年 稲岡 宥映

私は小学校5年生のときから、新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な地域行事に参加できませんでした。例えば、姉妹都市の岡谷市との交流、東賀地区の小学校で行われていた音楽発表会や陸上記録会が中止となってしまう

ました。学校外の活動では、子ども会のドッジボール大会や、7月の祭りの神輿担ぎと練りは、6年生のときにもできないまま終わってしまいました。また、町民大会など過疎化によりなくなってしまった行事もありました。このような長年当たり前のように行われていた行事ができなかったことで、いろいろな経験をするのができずに小学校生活を過ごしてきました。今までの小学生ができていたことが、私達の代からできなくなってしまったことは正直悲しかったです。

しかし、そのような中でも私は、母が「ダイロクキッチン」というコミュニティースペースの運営の手伝いをしていたことがきっかけで、従来の地域コミュニティの中では関わることのなかった人たちと出会うことができ、楽しい経験を味わうことができました。その中で私が特に印象に残っているものが二つあります。

一つ目は、静岡大学地域創造学環・東伊豆フィールドワークの学生さんたちが企画した、稲取を周遊するイベント「キンメナーレ」への参加です。私は会場の一つであった八幡神社で駄菓子屋の手伝いをしました。友達や大学生と、境内で鬼ごっこなどもして遊びました。このイベントで、来てくれた町の小学生や小さい子どもたちの笑顔が見られたことと、大学生と一緒にイベントを作り上げられたことがうれしかったです。駄菓子屋を手伝ってくれた友人も、「普段関わることのない大学生と交流することができて楽しかった。」と、言ってくれました。

二つ目は、「イナトリ・アート・フェス」に吹奏楽部として参加したことです。「イナトリ・アート・フェス」は、「アーツカウンスルしずおか」という県の事業の一環で、元東伊豆町地域おこし協力隊の荒武優希さんたちが企画したアートイベントです。稲取中学校吹奏楽部が、あと数年で廃部になってしまうことを私から聞いた荒武さんたちが、「稲中吹奏楽部の活動を形として残すために映像作品を作ろう。」と声をかけてくれました。収録は、稲取の偉人である西山

五郎さんにゆかりのある邸宅で行われ、稲取高校吹奏楽部と合同で「東伊豆町のうた」を演奏しました。この映像は今でもYouTubeで見ることができます。収録のときには、稲高吹奏楽部やプロの音楽家の方々と交流することができました。また、今まで経験したことのない音楽と映像の収録をすることができ、世界が広がりました。この映像作品がきっかけで町立図書館から依頼され、図書館開館イベントで稲取中学校吹奏楽部単独での演奏会をさせていただく機会にもつながりました。

このように私は、地域の中で様々な経験をすることができました。しかし、多くの経験をしてきたからこそ、「もっと多くの地域の子供たちにも、私のような経験をしてもらえたらいいな。」「イベントを作り上げる楽しさを知ってもらいたいな。」という思いが湧いてきました。そこで、どのようにすれば、そのような機会を作れるのか考えました。

一番大切だと思うのは「参画」です。私たちが、お客さんとして訪れるだけでなく、企画の中に小中学生が参加することで、地域の方と新たなコミュニティづくりができると思います。しかし、それには少しハードルがあると思います。実際のところ参加するのに抵抗がある小中学生もいて、私の身近なところでも、「興味はあるけれど参加への一歩を踏み出せない。」という声が聞かれます。

けれど私は、様々な活動を通して活動する楽しさや、色々な人と関わる喜びを味わいました。そして何より「こんな世界があるのか」という発見をすることもできました。

稲取で行われているイベントなどは、地域の伝統や特色を活かしたものが多いと思います。中学校でも総合的な学習の時間で「地域学習」を行ってきました。そこでは「雛の吊るし飾りづくり」や「新郷土カルタづくり」を行っています。このような活動を通して、地域のことをより深く学び、地域の方と関わりを持つことができました。それぞれが地域に関係するイベン



トや企画、授業を行っていることを活かし、団体やコミュニティーと学校が関わりを持ちながら、イベントや行事を作り上げていくことで、子供たちが参画できる機会を増やせると思います。一度参加し体験をすることで、「次にまた参加してみたい。」「もっと色々なイベントを経験してみたい。」と感じる子供が増え、地域の活動がより活性化することにもつながると思います。

私はまだ中学3年生ですが、将来は故郷である稲取に戻ってきて、私がこれまで味わってきた貴重な経験を、私たちの次の世代にも味わってもらえるような活動をしたいと考えています。まだ、どのような形で実現できるかはわかりませんが、私が経験したことや学んだことを稲取でいかしていくこと。そして私が大人になったとき、次の世代の子供たちと様々な活動を行っていくこと。子供たちの世界が広がるようにしてあげられることが、私なりの地域貢献だと考えています。



### みんなで命を守るために 稲取高等学校1年 山田 薫生

2024年に入ってから、ニュースで様々な災害の様子を見ることが多くなった気がします。さらに、8月には南海トラフ地震臨時情報が発表され、不安な気持ちになった人も沢山いたと思います。私もその一人です。日本中で大変な思いをされている方が大勢いて、その人達の悲し

そうな顔を見るたび、辛い話を聞くたびに何かできることはないのかと思うと同時に、次は私達の番なのではないかと不安になるのです。

私が通っている稲取高校はとても景色が良く、街を見渡すことができます。教室の窓の外を見ると、大好きな祖父母達が住む家、思い出が詰まっている母校などの私の大切な場所が見えます。大好きな町並みです。しかし、災害はいつ起こるかわかりません。昨日まで当たり前だったこの町並みが、津波や土砂崩れ、大規模な火災によって明日にはぐちゃぐちゃに壊れてしまうかもしれません。考えたくもないことですが、いつでも起こり得ることなのです。それでも被害を最小限にするために様々な対策がされています。地震の揺れに強い建物を作ったり、海には防波堤を作ったり、テトラポットを設置したり。しかし、だからといって安心はできないのです。想定以上の強い揺れがくるかもしれないし、津波は防波堤を軽々と超えてくるかもしれない。そうなってしまったら、きっと街は今の姿ではなくなります。とても悲しいですが、しょうがないといってしまうでしょうがないことです。

しかし私は、町並みが変わってしまったとしても絶対に変わってほしくないと思うものがあります。それはここに住む人々です。大好きな町並みの中には、大好きな家族、友達、ご近所さん、沢山の人が住んでいます。町並みが変わってしまうことがしょうがないことだとしても、人々の命が失われることはしょうがないことにさせたくありません。建物や地形は完全に元通りにはなかったとしても、ある程度復興されてまた人々が住める土地になるかもしれません。しかし、人が亡くなってしまったらその命は永遠に返ってくることはありませんし、大切な人をなくした人の心の穴が完全に埋まることもありません。だから、自分と周りの人の命はどうにかして守りたいのです。

どちらも守るためには、正しい知識と人同士の繋がり、この2つが大切だと思います。何

も起きていない日常のなかでさえ根拠のない間違った知識はそこら中にはびこっています。災害で世の中が混乱すると、その量は多くなり広まりやすくなっていきます。そして、大変な状況になればなるほど正常な判断ができなくなっていき、普段は嘘だとわかることも信じてしまうかもしれません。ですので、普段から、正しい知識を知ろうとする、情報の真偽を見抜く力をつけるといったことが、いざという時に命を守る方法につながると思います。そして、人同士の繋がりがあることによって気づける SOS のサインがあるかもしれません。災害が起こった直後ではなく、避難所生活を送る中で病気になってしまったり、持病が悪化したりして亡くなる、災害関連死というものもあるそうです。「あの人少し体調が悪そうだな」「この人最近顔色が悪いな」といったことは、日頃からよく知っている人にしか気づけないかもしれないし、指摘できないかもしれません。人同士の繋がりがあることによって起こるトラブルもあるとは思いますが、しかし、人同士の繋がりが救う命も確実にあるはずなのです。だから、普段から地域の行事に参加する、あいさつを積極的にするということは大切なことです。何かあった時、命を守るにはその時の行動だけでなく日頃からの意識の積み重ねも重要です。

もしも災害が起こったら、私達はなにかしらのものを失ってしまうと思います。それでも、生きていればどうにかなると思って、命だけは守り抜きたい。悲しみは最小限におさえたい。きっとこの思いはみんな同じです。だから日頃からの意識も感謝も忘れずに、暖かい気持ちを持ってこれからも生きていきたいです。



## 私の夢

下田高等学校 1 年 鈴木 絢

私の将来の夢は、助産師になることです。

今年高校に入学した私は、日々の生活の中で自分の将来について触れることが多くなりました。これまでなんとなく考えていた将来のことを真剣に考えるようになり、将来自分はどのようなことがしたいのか、どのような人になりたいのかなどと、具体的に考え、自分と向き合う中で、将来の夢が見えてきました。

まず、中学生の時に職場体験で病院に行った際に、看護師の一日体験をさせていただきました。実際に看護師の仕事について教えてもらったり、患者さんに食事の配膳をしたり、検査の付き添いなどをさせていただきました。食事の配膳をした際、患者さんから「ありがとう」と言ってもらい、その一言で、緊張して上手くコミュニケーションが図れなかった私の緊張感が解け、とても嬉しい気持ちになりました。

私はその時の「ありがとう」と言われた際の嬉しさが忘れられず、その言葉をきっかけに、人を助ける仕事がしたいと思うようになりました。間近で看護師さんの働く姿を見て、看護師は人を助けることができ、コミュニケーションを通して患者さんとの信頼関係を構築し、より良い看護を患者さんに提供しているのだと知り、私の目指す将来像ともなりました。このような将来像を頭に思い描きつつ、将来のことを考えている時に、小さい子のお世話をするに憧れを抱いていることにも気づきました。この、自分自身の目指す将来像と、憧れとが合致した仕事は何かと考えた時「助産師」という仕事にたどり着きました。

私は兄弟の末っ子だったこともあり、ずっと小さい子のお世話をするに憧れを持っていました。助産師という仕事は、お母さんや赤ちゃん、家族などと、人を助け、支える仕事であること、自分の憧れである小さい子のお世話が

できるというところに魅力を感じ、将来の夢となりました。

助産師という仕事を目指す上で、私がこれから取り組んでいきたいことは、「思いやりや共感力を持って人と接する」ことです。職業体験で一番に感じたことは、患者さんのことを一番に考えているということです。自分自身が思い描いていることではなく、他者の気持ちを汲み取り、受け入れて理解し、共感してあげることが一番大切なことなのだと思います。学校生活の中では、普段友達と話す時などに話している相手の気持ちを想像したり、相手だけでなく自分の感情も理解したりして、相手の話に耳を傾けるということを意識して生活しています。今後は、自分の考え方や人間としての幅を広げるためにも、看護系のボランティアをはじめ様々なことに挑戦していき、夢に近づけるように努力していきたいです。

このような体験や目標を通して、ただ助産師になるという目標を掲げるのではなく、幸せや喜びを与えられるような助産師になりたいと思っています。しかし、「なりたい」という憧れだけを持ち、行動をしなければ、助産師という夢は達成できないと考えます。いつか夢が現実になった時、この町の人達だけではなく、多くの人を助け、支えられるような助産師になりたいです。



| 回数  |                    | 第1回    | 第2回    | 第3回    | 第4回    | 第5回             |
|-----|--------------------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
| 学校名 |                    | 昭和60年度 | 昭和61年度 | 昭和62年度 | 昭和63年度 | 平成元年度           |
| 小学生 | 大川小学校5年            | 稲葉 賢史  | 後藤 麻衣子 | 鎮田 泰代  | 稲葉 恭子  | 内藤 晴之           |
|     | 大川小学校6年            | 飯田 瑞穂子 | 稲葉 美穂子 | 稲葉 隆行  | 稲葉 早千江 | 飯田 めぐみ          |
|     | 熱川小学校5年            | 小林 千枝  | 鈴木 理史  | 川上 竜司  | 木村 昌弘  | 藤井 愛            |
|     | 熱川小学校6年            | 井原 みゆき | 森田 綾   | 島田 浩充  | 濱野 剛稔  | 横山 あかね          |
|     | 稲取小学校5年            | 村木 町子  | 山田 亜矢子 | 奈良 有希子 | 石井 夏菜  | 雲野 多恵           |
|     | 稲取小学校6年            | 加藤 郁美  | 鈴木 美恵子 | 渡辺 宏   | 村木 美輝  | 内藤 美奈子          |
| 中学生 | 熱川中学校1年            | 嶋田 千穂  | 飯田 瑞穂子 | 加藤 久美子 | 加藤 友美  | 小林 浩一           |
|     | 熱川中学校2年            | 土屋 いづみ | 兼子 まや  | 飯田 瑞穂子 | 稲葉 るみ子 | 加藤 友美           |
|     | 熱川中学校3年            | 前田 慶子  | 及川 智恵  | 稲葉 真紀  | 児島 涼子  | 稲葉 美穂子          |
|     | 稲取中学校1年            | 鈴木 有美子 | 福岡 慈子  | 金指 直子  | 田原 竜也  | 太田 雅也           |
|     | 稲取中学校2年            | 山田 幸二  | 滝 裕子   | 福岡 慈子  | 渡辺 奈穂子 | 田山 麻理絵          |
|     | 稲取中学校3年            | 堀川 泰代  | 滝 悦子   | 平田 洋子  | 石原 尚子  | 古屋 桃子           |
| 高校生 | 稲取高等学校             | 松山 美加  | 田原 俊介  | 和田 めぐみ | 鈴木 活生  | 庄司 好男<br>遠藤 智美  |
|     | 下田南高等学校            |        |        |        |        | 鳥沢 たまき          |
|     | 伊 東 城ヶ崎<br>高 等 学 校 |        |        |        | 大内 佳人  | 雄谷 隆夫<br>三浦 周一郎 |
|     | 下田北高等学校            |        |        | 鈴木 参日  | 辻 由美子  | 加藤 正剛           |
|     | 下 田 南<br>( 定 時 制 ) |        |        |        |        |                 |
|     | 伊 東 商 業<br>高 等 学 校 |        |        |        |        |                 |
|     | 伊 東 高 等 学 校        |        |        |        |        |                 |

| 回数  |               | 第6回             | 第7回    | 第8回    | 第9回    | 第10回             |
|-----|---------------|-----------------|--------|--------|--------|------------------|
| 学校名 |               | 平成2年度           | 平成3年度  | 平成4年度  | 平成5年度  | 平成6年度            |
| 小学生 | 大川小学校5年       | 木村 直樹           | 稲葉 世里子 | 稲葉 健太  | 飯田 多賀乃 | 横山 美和            |
|     | 大川小学校6年       | 飯田 剛弘           | 木村 和加子 | 山下 優子  | 飯田 洋一  | 片山 房子            |
|     | 熱川小学校5年       | 山本 稚奈           | 木村 奈津子 | 小林 真瑛  | 田神 敬祐  | 坂田 菜穂子           |
|     | 熱川小学校6年       | 木村 明人           | 戸田 景子  | 木村 浩子  | 高羽 さやか | 太田 恵子            |
|     | 稲取小学校5年       | 伊東 久恵           | 鈴木 智和  | 山田 美保子 | 鈴木 精一郎 | 内山 亜紀子           |
|     | 稲取小学校6年       | 垂井 幸            | 桑原 加奈子 | 横山 真理  | 太田 博之  | 小池 正治            |
| 中学生 | 熱川中学校1年       | 不二山 千晴          | 溝尾 祐   | 不二山 仁美 | 野澤 留実  | 鈴木 美菜            |
|     | 熱川中学校2年       | 土屋 はるか          | 金指 亮太  | 豊島 真美  | 鈴木 佑理  | 野澤 留実            |
|     | 熱川中学校3年       | 秋永 美絵           | 鎮田 泰代  | 飯田 留美  | 島田 深志  | 山本 稚奈            |
|     | 稲取中学校1年       | 内藤 夕子           | 小知和 寛子 | 篠田 知子  | 鈴木 未奈  | 古屋 彩花            |
|     | 稲取中学校2年       | 鈴木 照子           | 斎藤 立枝  | 小知和 寛子 | 花田 知子  | 遠藤 裕美            |
|     | 稲取中学校3年       | 田原 竜也           | 宮原 崇敏  | 金指 貴子  | 山田 恵梨子 | 坂部 千秋            |
| 高校生 | 稲取高等学校        | 勝間田 秀寿<br>前田 朝子 | 鈴木 一繁  | 飯田 仁美  | 高村 幸邦  | 飯田 剛弘            |
|     | 下田南高等学校       | 石原 尚子           |        |        |        |                  |
|     | 伊東城ヶ崎<br>高等学校 |                 |        |        | 土屋 富浩  | 前野 智恵子           |
|     | 下田北高等学校       |                 |        |        | 飯田 ひとみ | 小知和 寛子<br>飯田 めぐみ |
|     | 下田南(定時制)      |                 |        |        |        |                  |
|     | 伊東商業<br>高等学校  |                 |        |        |        |                  |
|     | 伊東高等学校        |                 |        |        |        |                  |

| 回数  |           | 第11回            | 第12回   | 第13回   | 第14回            | 第15回   |
|-----|-----------|-----------------|--------|--------|-----------------|--------|
| 学校名 |           | 平成7年度           | 平成8年度  | 平成9年度  | 平成10年度          | 平成11年度 |
| 小学生 | 大川小学校5年   | 湯川 貴喜           | 稲葉 由莉  | 西尾 雅輝  | 木村 高德           |        |
|     | 大川小学校6年   | 岡田 真美           | 稲葉 愛美  | 稲葉 由莉  | 星野 健作           | 山本 茜   |
|     | 熱川小学校5年   | 中島 亜希子          | 石森 千春  | 坂田 佳之  | 秋永 知南           |        |
|     | 熱川小学校6年   | 横山 隆志           | 湊 渉子   | 相沢 祐樹  | 山岸 みづ紀          | 山本 紗弓  |
|     | 稲取小学校5年   | 小野 仁実           | 米澤 亜弥  | 佐藤 翠   | 富岡 加織           |        |
|     | 稲取小学校6年   | 村山 恵美           | 富岡 志穂美 | 栗田 里美  | 内山 浩美           | 鈴木 友里子 |
| 中学生 | 熱川中学校1年   | 飯田 多賀乃          | 土屋 美和  | 山本 力道  | 久野 麻紀           |        |
|     | 熱川中学校2年   | 稲葉 健太           | 飯田 多賀乃 | 横山 宏美  | 曾我 真奈美          | 森田 みなみ |
|     | 熱川中学校3年   | 嶋田 早紀子          | 鈴木 美菜  | 乗松 宏衣  | 河内 孝樹           | 佐藤 香里  |
|     | 稲取中学校1年   | 遠藤 有希子          | 石垣 ちさと | 佐藤 栄美  | 金指 令枝           | 内山 浩美  |
|     | 稲取中学校2年   | 稲葉 いづみ          | 山口 宏美  | 上嶋 麻衣子 | 村木 貴            |        |
|     | 稲取中学校3年   | 桑原 敦子           | 秋田 真澄  | 清水 高明  | 古屋 明日花          | 村木 貴   |
| 高校生 | 稲取高等学校    | 村木 さやか          | 須藤 裕美  | 鈴木 梓   | 土屋 晋            | 村上 ゆりこ |
|     | 下田南高等学校   | 金指 純子           | 内山 加奈子 | 前田 美佐子 | 鈴木 千絵           |        |
|     | 伊東城ヶ崎高等学校 |                 |        | 田中 有希子 | 五十嵐 広行<br>高橋 真未 | 鈴木 愛理  |
|     | 下田北高等学校   | 濱野 友加<br>内山 太恵子 | 脇田 春啓  | 野澤 幸恵  | 湊 浩子            | 平川 城太郎 |
|     | 下田南(定時制)  | 市川 容子           | 太田 梓   |        |                 |        |
|     | 伊東商業学校    | 土屋 健一           | 高橋 映年  | 横山 麻子  | 稲葉 留美           |        |
|     | 伊東高等学校    |                 |        |        | 横山 綾子           | 米沢 知紘  |

| 回数  |           | 第16回   | 第17回   | 第18回   | 第19回   | 第20回   |
|-----|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学校名 |           | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
| 小学生 | 大川小学校5年   |        |        |        |        |        |
|     | 大川小学校6年   | 歌田 裕美  | 稲葉 啓太郎 | 木村 美穂  | 木村 佳奈美 | 稲葉 拓人  |
|     | 熱川小学校5年   |        |        |        |        |        |
|     | 熱川小学校6年   | 伊藤 梨紗  | 中村 賢哉  | 京極 雄大  | 岩間 康平  | 中村 駿介  |
|     | 稲取小学校5年   |        |        |        |        |        |
|     | 稲取小学校6年   | 芹澤 美沙  | 遠藤 悠子  | 内山 颯子  | 鈴木 里咲  | 山田 瑞季  |
| 中学生 | 熱川中学校1年   |        |        |        |        |        |
|     | 熱川中学校2年   | 梅原 千種  | 石川 泰希  | 稲葉 寛美  | 山本 彩香  | 高崎 頼   |
|     | 熱川中学校3年   | 石森 千春  | 前田 友美  | 山本 茜   | 飯田 龍仁  | 鈴木 雅晃  |
|     | 稲取中学校1年   |        |        |        |        |        |
|     | 稲取中学校2年   | 中山 美穂  | 本田 璃菜  | 八木 厚子  | 上嶋 紗也加 | 齊藤 佳穂  |
|     | 稲取中学校3年   | 黒田 祐介  | 内山 浩美  | 鈴木 宏規  | 石井 三香子 | 本田 華菜  |
| 高校生 | 稲取高等学校    | 野口 花菜  | 小野澤 宏太 | 菊地 恵   | 鈴木 俊太  | 土屋 奈菜  |
|     | 下田南高等学校   |        | 山田 佐世  |        | 平井 里奈  | 村上 麻実  |
|     | 伊東城ヶ崎高等学校 | 佐々木 草平 | 遠藤 あゆみ | 太田 裕介  | 石塚 里沙  | 星野 千秋  |
|     | 下田北高等学校   | 富岡 志穂美 | 村木 かおり | 鈴木 成禎  | 飯田 宗一郎 | 千葉 崇幸  |
|     | 下田南(定時制)  |        |        |        |        |        |
|     | 伊東商業学校    |        | 森田 有希子 | 富田 さち  | 前田 尚也  | 新居 功   |
|     | 伊東高等学校    | 太田 美佐  | 金作 美紀  | 遠藤 央恵  | 佐藤 舞   | 秋永 亮   |



| 回数  |             | 第21回   | 第22回   | 第23回   | 第24回   | 第25回   |
|-----|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学校名 |             | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 |
| 小学生 | 大川小学校5年     |        |        |        |        |        |
|     | 大川小学校6年     | 木村 慎太郎 | 稲葉 大樹  | 石井 圭介  | 飯田 夕稀  | 後藤 隼希  |
|     | 熱川小学校5年     |        |        |        |        |        |
|     | 熱川小学校6年     | 鈴木 亜実  | 大兼 ことみ | 八木 梨紗  | 渡邊 里奈  | 中村 萌   |
|     | 稲取小学校5年     |        |        |        |        |        |
|     | 稲取小学校6年     | 石井 輝   | 鈴木 結稀  | 米澤 茜   | 村木 恭二  | 盆子原 茜音 |
| 中学生 | 熱川中学校1年     |        |        |        |        |        |
|     | 熱川中学校2年     | 加藤 郁美  | 黒田 訓英  | 有賀 伊久磨 | 大兼 ことみ | 八木 梨紗  |
|     | 熱川中学校3年     | 市川 加菜  | 富樫 貴史  | 石井 光晴  | 小澤 翔太  | 木村 沙枝美 |
|     | 稲取中学校1年     |        |        |        | 米澤 茜   | 大塩 朝加  |
|     | 稲取中学校2年     | 塙 麻祐子  | 鳥沢 香純  | 宮崎 恵里奈 |        |        |
|     | 稲取中学校3年     | 森下 泰羽  | 山田 茉莉花 | 安森 沙耶  | 安部 尊誼  | 田村 彩   |
| 高校生 | 稲取高等学校      | 梅原 麻美  | 岩崎 里音  | 竹内 遥香  | 前川 美悠  | 大鳥 瑞希  |
|     | 下田南高等学校     | 高村 和   | 上島 麻実  |        |        |        |
|     | 伊東城ヶ崎高等学校   | 宍戸 沙耶香 |        |        |        |        |
|     | 下田北高等学校     | 山田 晴美  | 山田 剛史  | 横山 美紀  |        |        |
|     | 伊東高等学校城ヶ崎分校 |        | 早瀬 明日香 | 森 正代   | 篠澤 勇志  | 土屋あゆみ  |
|     | 伊東商業高等学校    | 太田 侑紀  |        | 中山 瑛里  | 吉田 美沙  |        |
|     | 伊東高等学校      | 横倉 園枝  | 中村 歩美  | 釜田 みずき | 滝口 汐利  | 山田 美智子 |
|     | 下田高等学校      |        |        |        | 相良 龍太郎 | 石井 利枝  |

| 回数  |                 | 第26回   | 第27回   | 第28回   | 第29回   | 第30回   |
|-----|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学校名 |                 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
| 小学生 | 大川小学校5年         |        |        |        |        |        |
|     | 大川小学校6年         | 石井 拓也  | 稲葉 陶真  | 飯田 咲喜  | 石井 那於  | 飯田 大喜  |
|     | 熱川小学校5年         |        |        |        |        |        |
|     | 熱川小学校6年         | 加藤 博己  | 土屋 花音  | 田村 伊織  | 嶋田 翔太郎 | 鳥澤 侑生  |
|     | 稲取小学校5年         |        |        |        |        |        |
|     | 稲取小学校6年         | 高橋 大地  | 藤邊 光源  | 佐久間 祐也 | 太田 翔夢  | 梅原 千裕  |
| 中学生 | 熱川中学校1年         |        |        |        |        |        |
|     | 熱川中学校2年         | 萩原 歩美  | 石井 奈菜子 | 臼井 裕貴  | 岩崎 航大  | 篠原 陽   |
|     | 熱川中学校3年         | 穴澤 なな子 | 飯田 夕稀  | 稲葉 義充  | 森 萌香   | 茂木 優紀  |
|     | 稲取中学校1年         | 鈴木 絢子  | 村木 亜未香 | 稲葉 亜汐  | 鈴木 琢也  | 齋藤 陸   |
|     | 稲取中学校2年         |        |        |        |        |        |
|     | 稲取中学校3年         | 宮崎 玲唯奈 | 太田 和希  | 山田 さくら | 鈴木 綾乃  | 千葉 優寿花 |
| 高校生 | 稲取高等学校          | 阿部 佳澄  | 竜田 匠   | 上柳 希   | 中嶋 美幸  | 西田 翔   |
|     | 伊東高等学校<br>城ヶ崎分校 | 川合 清香  | 穴澤 なな子 | 加藤 美里  | 佐藤 恭子  | 小野 あいり |
|     | 伊東商業<br>高等学校    | 奥村 美咲  | 木村 遥   | 木村 円香  | 加藤 百夏  | 石井 茉夕子 |
|     | 伊東高等学校          |        |        | 土屋 かおる | 日下 拳   |        |
|     | 下田高等学校          | 村木 由仁  | 横山 蓮   | 山本 伊万里 |        | 相澤 蘭   |
| 一般  |                 |        |        |        |        |        |

| 回数  |                 | 第31回   | 第32回   | 第33回   | 第34回   | 第35回   |
|-----|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学校名 |                 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度  |
| 小学生 | 大川小学校5年         |        |        |        |        |        |
|     | 大川小学校6年         | 茂木 洋輔  | 木村 優太  | 柚田 唯生  |        |        |
|     | 熱川小学校5年         |        |        |        |        |        |
|     | 熱川小学校6年         | 亀浦 ももか | 工藤 真帆  | 土屋 慶音  | 稲葉 佳丈  | 高羽 雄大  |
|     | 稲取小学校5年         |        |        |        |        |        |
|     | 稲取小学校6年         | 強谷 菜々美 | 八代 隆世  | 黒田 ゆき  | 鈴木 尚   | 飯田 凜音  |
| 中学生 | 熱川中学校1年         |        |        |        |        |        |
|     | 熱川中学校2年         | 常盤 大聖  | 長谷川 珠里 | 山本 晃己  | 木村 優太  |        |
|     | 熱川中学校3年         | 富田 夏帆  | 小柳 李菜  | 内山 結愛  | 藤井 菜々美 | 稲葉 理桜  |
|     | 稲取中学校1年         | 内山 世那  | 宮下 旦   | 内山 桃華  | 鈴木 泰晴  | 鈴木 友菜  |
|     | 稲取中学校2年         |        |        |        |        |        |
|     | 稲取中学校3年         | 山田 朝陽  | 村木 美憂  | 清水 悠加  | 前田 晃佑  | 井口 恋来  |
| 高校生 | 稲取高等学校          | 山本 瑠夏  | 菊池 和磨  | 前田 雄太郎 | 佐藤 南星  | 山本 大翔  |
|     | 伊東高等学校<br>城ヶ崎分校 | 青山 今日子 | 小川 奈々  | 佐藤 彩音  | 太田 あゆみ |        |
|     | 伊東商業<br>高等学校    | 山田 真治郎 |        |        |        |        |
|     | 伊東高等学校          | 稲葉 夕夏  |        | 齋藤 那希  |        |        |
|     | 下田高等学校          | 西田 亜美  | 川端 綾   | 米澤 凜夏  | 高羽 隆生  | 山田 龍道  |
| 一般  |                 |        |        |        |        | 本多 まゆみ |

| 回数  |                 | 第36回  | 第37回   | 第38回   | 第39回   | 第40回  |
|-----|-----------------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 学校名 |                 | 令和2年度 | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  | 令和6年度 |
| 小学生 | 大川小学校5年         |       |        |        |        |       |
|     | 大川小学校6年         |       |        |        |        |       |
|     | 熱川小学校5年         |       |        |        |        |       |
|     | 熱川小学校6年         | 木村 真緒 | 野口 はな  | 木田 真奈羽 | 笠井 舞花  | 松本 楓優 |
|     | 稲取小学校5年         |       |        |        |        |       |
|     | 稲取小学校6年         | 山田 薫生 | 鈴木 凜   | 鈴木 莉音  | 嘉瀬 琴葉  | 鄭 喜元  |
| 中学生 | 熱川中学校1年         |       |        |        |        |       |
|     | 熱川中学校2年         |       |        |        |        |       |
|     | 熱川中学校3年         | 木村 侑和 | 生田目 朱莉 | 梅野 強   | 船山 明日香 | 金田 泰泉 |
|     | 稲取中学校1年         |       |        |        |        |       |
|     | 稲取中学校2年         |       |        |        |        |       |
|     | 稲取中学校3年         | 石井 六花 | 田村 悠華  | 鈴木 奈都菜 | 藤邊 妙果  | 稲岡 宥映 |
| 高校生 | 稲取高等学校          | 前田 瑠花 | 米澤 ゆず  | 八代 勇渡  | 山崎 莉々亜 | 山田 薫生 |
|     | 伊東高等学校<br>城ヶ崎分校 |       |        |        |        |       |
|     | 伊東商業<br>高等学校    | 宮下 耀  | 竹内 楓   | 山本 ゆりか |        |       |
|     | 伊東高等学校          |       |        | 清水 朝成  |        |       |
|     | 下田高等学校          | 田村 豪人 | 横山 海斗  | 進藤 寧緒  | 田代 龍輝  | 鈴木 絢  |
| 一般  |                 |       | 高瀬 真由  |        |        |       |

編集・発行

第 40 回 東伊豆町青少年主張発表大会文集

東伊豆町 教育委員会事務局 社会教育係

TEL：0 5 5 7 - 9 5 - 6 2 0 6

FAX：0 5 5 7 - 9 5 - 5 6 9 1